



笹小だより



⑩令和4年1月14日号

伊丹市立笹原小学校

<http://www.s-sasa.itami.ed.jp/>

壬寅年 明けましておめでとうございます



1月7日、約2週間ぶりに学校に「笹っ子」が帰ってきました。年末年始の冬休みの間、それぞれの家庭で楽しい時間を過ごしたようで、早速担任に休みの思い出を話している姿が見られました。始業式は、今回もコロナ対策として「ZOOM(ズーム)」を使ってのオンラインで行いました。ホストパソコンとなる校長室の分割された画面からは、各教室の様子がよく見え、新年のあいさつをしっかりと頭を下げてしている様子が見られ、新年を迎えて一段と成長したように感じました。

始業式では、3学期は1・2学期より短く、みんなと学校で勉強できる日は約50日しかないことや(6年生は48日目が卒業式)となることから、一日一日を大切に過ごして、今の学年の間に学んでおくべきことをしっかりと身につけることを伝えました。そして4月には自信をもって上の学年に進級してほしいこと、また6年生は中学生になってほしいことを話しました。

また1月7日は五節句の一つで「人日の節句」といい、七草がゆを食べ胃を休める日であることを伝えるとともに、他の節句についてもお話ししました。

さらに、あいさつにはいろいろな種類があることや、あいさつをする意味について、また年賀状は一年最初のごあいさつであることも話しました。いずれのあいさつも、文字や言葉に気持ちを込めると、相手にしっかりと伝わることを話し、家でも近所でも、そして学校でも「あいさつ」を大切にしてほしいと、始業式のあいさつをしました。

最後に、冬休みの後半になり、前々から心配していた「オミクロン株」による新型コロナウイルスが広がる地域が出始めて、予断を許さない状態であることを説明し、ひきつづき「マスク着用」「手洗い・消毒」「換気」等を忘れず、精一杯自分の体を守ることが大切だと話しました。

本年度も残すところ2ヶ月半です。壬寅(みずのえとら)年は、「壬が生まれるという意味」「寅が延ばすや成長するという意味」があることから、『新しく立ち上がること』や『生まれたものが成長すること』という縁起の良さを表しているとも言われています。是非コロナから脱却して、良い年になることを願っています。学校としても、コロナを受け身になるのではなく、よく考えて対策を講じながら、できることは工夫をしながら果敢に進んでいきたいと考えています。



「備えあれば憂いなし」 地震を想定して



今からさかのぼること27年、1995年1月17日午前5時46分52秒、兵庫県南部に大地震が発生しました。兵庫県の淡路島北部沖を震源とし、マグニチュード7.3の大きさであったため、約15秒間のゆれは広い地域に大きな被害をもたらしました。この地震で亡くなられた方は関連死も含めて6400人を超えました。伊丹市でも甚大な被害を受け、当時の悲惨な様子は今でも脳裏に焼き付いています。

学校周辺の家屋では、屋根瓦がずれたり落ちたりしたため、雨漏りを防ぐブルーシートが屋根をおおい、校舎の上から見ると青い色が周辺一帯に広がっていたのを覚えています。また、当時駅ビルの上部にあった阪急伊丹駅も崩落して、下の交番で勤務されていた警察官が亡くなられたことも報道されました。その他にも、阪神高速道路が土台部分から連なって倒れたり、笹原小学校から近い場所を通っていた新幹線も、土台が崩れ線路の一部が浮き出て、しばらく不通となっていました。市内あちこちで道路が陥没したり窓ガラスが割れたりして、交通手段も遮断されていました。

当時を思い出すと、学校に300人程の人が避難され、不自由な生活を余儀なくされていました。教員も伊丹市職員とともに、学校で夜を過ごし、避難されている方の食事や飲み水、生活のお手伝いを必死にしていたことを思い出します。被害の大きかった神戸市では、あちらこちらのビルが倒壊し、火の手が上がっている映像も目にしました。

それまで地震は揺れるという怖さだけでとらえていた自然の恐ろしさを、あらためて思い知らされた気がしました。天災は避けることができません。しかし、あらかじめ想定して準備をすることにより、被害を最小限に抑えることはできます。



今回実施した「地震を想定した避難訓練」も、自分を守る手段の一つです。直接体験したことがない子どもたちに、伝えていきたいものです。そして大切なことは、このような緊急時に自分で自分の体を守るためには、何をしなければならないかを身につけることです。

これを機会に、是非ご家族での話し合いをお願いいたします。地震が起きた時には、①机などの下に入り頭や体を守る、②ゆれがおさまったら、すばやく頭を守りながら避難する、③建物や塀などは倒れるおそれがあるため近づかない、④割れると危険なガラスから離れるなどを心がけてください。また、電話が使えなくなった時、⑤家族はどこに集まるのか、⑥避難場所はどこなのか、などを再確認いただくをお願いいたします。



現在コロナ禍の状況にあるため、今回の避難訓練の実施について検討しました結果、引き渡し訓練をほとんど体験したことのない低学年の子どもを対象として、1～3年生のみ引き渡し訓練を行うこととしました。

地震時に児童が教室等から避難する訓練は、業間休みに全校生で実施いたしました。引き渡し訓練にご協力くださりありがとうございました。

